

1. 研究者になろうとしたきっかけ

ひとの疾患について、その科学的メカニズムを詳細に明らかにしたいと思ったため。疾患のメカニズムが明らかになれば、それを治療する方法論を見つけることができると信じています。

2. 助成研究の内容紹介

ひとの体のさまざまな組織に存在するリンパ球は、その一つ一つが異なる物質を認識する個性豊かな細胞集団です。私の研究テーマは、正常組織にはなくてがん細胞だけが持つ固有の物質(がん抗原といいます)を認識する特徴的なリンパ球をがん組織から見つけ出し、それをがん治療に応用しようという研究を進めていくことです。近年、がんに対する免疫反応を強めることでがんを治療する「がん免疫療法」の開発が進んでいますが、私の研究は、新しいがん免疫療法を開発するための方法論を見つけ出すことを目標としています。

3. 2の将来に繋がる結果予想・目標

がん組織におけるリンパ球の働きについて、科学的にさまざまなことが明らかになることが予想されます。それによって、がんに対する新しい治療法を開発するための道筋が見つかるかもしれません。

4. 全国の RFL 関係者に一言

Relay-for-Life の精神に則って、患者さんから頂いたがん組織というバトンを次世代がん治療法の開発へと繋げていきたいと思っています。